

	号外	定価 1部2円	いよいよ秋の確定闘争ヤマ場突入！ 厳しい職場実態を突き付け、具体的な改善回答求め県職労に結集を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

2022確定闘争② 10.27県職労。人事課長交渉

大型ハガキ署名で当局姿勢質せ！

人員課題 来年度採用を見据えた体制強化を



加藤人事課長に要求書を手交

10月27日、県職労は、賃金水準向上、諸手当改善、人員確保課題、高齢層職員処遇、会計年度任用職員制度や専門職の処遇改善、長時間労働是正、職場環境改善等に係る独自要求書を加藤人事課長に提出し、当局から具体的改善策を求め、交渉を行った（賃金等の地公共闘共通課題は10月28日赤柶号外第2642号を参照）。

【交渉結果】 1 月例給・一時金 「県人勸を最大限尊重」を引き出すも、給与改定は時期を含め、国他県の動向に留意しつつ、勧告の取り扱いを検討」に終始。次回交渉では、確実な給与改定、年内差額支給など、より踏み込んだ前進回答を強く訴えた。

2 人員課題 「県民の生命や生活を守るため、自然災害など緊急的対応のフェーズに応じ、機動的に組織・人員体制の構築が必要。コロナ対策では、全庁による業務支援など全庁一丸となって対応」との姿勢も、交渉団からは、部局横断型には限界があり乗り切れない。来年度採用を見据えた体制強化を要請した。



改善回答を求める県職労交渉団



回答する加藤人事課長

その他、専門職の処遇改善、エレベーターが設置されていない庁舎の弊害、心身の健康、ハラスメント対策など、当局の見解を求めたが、当局からの回答では具体策が示されず、極めて不満。

厳しい職場実態で業務を強いられている中、職員負担を放置し続ける姿勢は許されない。例年になく極めて短い期間での決着も、次回交渉（11月4日）での前進回答を求めていく（裏面に続く）。

3 高齢層職員の処遇改善（定年引上げ課題含む）

（人事課長）昇給制度より効果的な、行政職5級の最高号給へ主幹任用拡大、勤勉手当での運用上の工夫を進めてきた。定年引上げ後の60歳以上の給与は、現在の再任用と比べ年収100万円程度増。（県職労）勧告も若年層が中心であり、物価上昇分も確保されず勤務意欲低下は著しい。定年引上げ後も含めた一層の対策を。



現業職員の再任用賃金改善を求める菊池中執

4 再任用職員の処遇改善

（人事課長）今回の勧告を踏まえ改定した場合、約1万5千円の増額。暫定再任用へ移行する中で格付けを見直す、現行再任用と比較して、年収で50万円程度の増額。（県職労）現行再任用職員との賃金水準、処遇均衡も必要。また現業職員で再任用を希望しない方がいると業務が回らなくなる。採用からずっと同じ業務にも関わらず、賃金較差が生じるのは大きな問題であり、配慮を。



会計年度課題改善を求める交渉団

5 会計年度任用職員課題

（県職労）業務に見合った人員配置が行われていない。予算の増減ではなく、業務に見合った会計年度任用職員の確保を。

（人事課長）来年度雇用に向け、業務の必要性に応じて減員する職もある一方、コロナ対策に係る専門員や日々雇用の技能員等、確保される職もある。

（県職労）来年度の任用手続きは公募による人が多いと推測。手続きスケジュールは。（人事課長）今月25日に前倒ししてマニュアルを示し、事務支障がないよう配慮。（県職労）マニュアルを見たが、主要経費分の任用手続き時期が例年どおり。予算縮減等もあり、本人に示す時期の前倒しを。

6 働き方改革（電子決裁・文書管理システム）

（人事課長）電子決裁はDX推進や適正な文書管理として導入したと認識。官民間問わず働き方改革が進む中、電子化、デジタル化と連動していく必要があるが改善点も多々ある。担当課と現場の声を聞きながら対応していきたい。

（県職労）紙をPDF化する手間など業務量が増えただけで電子決裁・文書管理システムは不満の声が多い。職場環境の改善で本当の意味での働き方改革を求める。

当局を厳しく追及！ 自動車↑もバイク・自転車は↓へ

当局は、ガソリン価格の引き上げ改定と併せて、自動車よりも燃料費負担の少ないバイク、自転車について、支給額を細分化する提案をしてきた。具体案も示されず、組合に対しての提案方法が不誠実とし、早急に具体的な改正案の提供を求めた。（※交渉後に組合へ提示した案は次のとおり）

【制度改正案】

- （1）オートバイ利用 自動車の手当額の2分の1の額（100円未満切り上げ）
- （2）自転車利用 通勤距離に関わらず、オートバイ利用の最低額と同額
- （3）2023年1月施行

手当引上げどころか改悪提案。大型ハガキ署名で提案を押しもどそう。